

特許出願公告及特許拔萃

特許出願公告拔萃

高速度用金属製調帶 (12年 特許公告第3748号 公告12-10-4 東京市 松本泰) 軽重二種のリンクを適當に按配して調帶の側部又は外側部の鎖軸及ナット部分に作用する遠心力に依る悪影響を相殺或は緩和し以て調帶下面の摩擦片をして調車外面に均齊に密せしめ且外側リンク及ナットの變位移動を防止し得へくなし斯くて從來の此種金属製調帶よりも遙かに高速度なる運轉に堪へしめるとする目的を以て 調帶の中央部分なる主體を構成せる重リンクの各兩側に所定數より成る輕リンクを配列し調帶外側に於ける鎖軸 ナット等の有害なる重量により調帶の中心線に對して及ぼす力率をして上記輕リンクの重量と同數の重リンク重量との差により調帶の中心線に對して及ぼすべき力率に等しからしむることに依り遠心力に依る有害作用を除去し得べくなし且輕リンクの最外側リンクの中央部を其リンクの厚さだけ内方に屈曲し該屈曲部の一面を内方の隣接リンクに熔接其他に依り固着し鎖軸端に螺着せらるゝ 切缺付ナットをして上記最外側リンクの屈曲により生じ得る凹所に嵌入着坐せしむると共に其切缺部に依り隣接鎖軸を挾持し得へく構成して成る高速度用金属製調帶

アルミニウム若くは其合金に耐酸性皮膜を形成せしむる方法 (12年 特許公告第3759号 公告12-10-4 大阪市 本郷本) 簡單なる方法に依り悪影響を及ぼす空氣を排除する事に依り被處理物の形狀大小に拘らず均一に水蒸氣處理效果を及ぼし特に耐酸性を増大せしめるとする目的を以て Al 若くは其合金に電解に依り酸化皮膜を形成せしめ 之を無孔質ならしむべく公知なる水蒸氣處理をなすに當り豫め處理釜内を真空に近く保たしむる事を特徴とする Al 若くは其合金に耐酸性皮膜を形成せしむる方法

アルミニウム又は其の合金に黒色を附する方法 (12年 特許公告第3762号 公告12-10-4 東京市 正木康作) アルミニウム又は其の合金に容易に光澤ある黒色を附せんとする目的を以て 銀シヤン化加里溶液にコバルト及マンガン鹽を加へ少量の硫酸を加へ又は加へざる浴中にアルミニウム又は其の合金製品を浸漬し放置又は電流を通ずることを特徴とし金屬面上に酸化銀を主體とする皮膜を附する事に依りアルミニウム又は其合金に黒色を附する方法

モリブデン高速度鋼被覆電極棒 (12年 特許公告第3779号 公告12-10-4 大阪市 矢木原祥一) 熔着金屬をして容易に所望の配合成分並効力を有し且熔着抗力を有せしめ得べきモリブデン高速度鋼の熔接棒を得る目的を以て 極軟鋼棒を芯線に被覆剤として Ferro Mo 5%~80% Ferro W 5%~50% Ferro Cr 2%~30% Ferro V 0.5%~10% Ferro Mn 0.2%~3% Ferro Si 0.5~20% 及 C 0.5%~10% を此の外若干の熔剤を使用し適當の厚さに塗着し被覆となしたるモリブデン高速度鋼被覆電極棒

硬質合金被覆電極棒 (12年 特許公告第3780号 公告12-10-4 陸軍大臣) 熔着金屬をして容易に所望の配合成分並効力を有し且接着抗力を有せしめ得べき硬質合金被覆電極棒を得る目的を以て 極軟鋼棒を芯線に被覆剤として Ferro W 30%~80% Ferro Cr 10%~60% Ferro Mn 0.01%~1% Ferro Mo 0.01%~1% Ferro Si 0.01%~1% 及 C 0.1~3% を此の外若干の熔剤を使用し適當の厚さに塗着し被覆となしたる硬質合金被覆電極棒

金屬輥延機 (12年 特許公告第3793号 公告12-10-6 亞米利加合衆國 ゼ コールド メタル プロセス カムパニー) 金屬材料を良

好輥延せしむ可く誘導し且作動する輥延機を得る目的を以て 機の片側上の挾持轉子と之等の轉子の一轉子を後退し得る如く裝置し而して機を驅動する電動機と該電動機の制御器と該制御器に作動せられて該挾持轉子中の該一轉子を機の電動機の始動後の一豫定時刻に於て後退運動せしむる裝置とを組合せて有する輥延機

自働切斷裝置を有する伸線機 (12年 特許公告第3794号 公告12-10-6 東京市 藤井金次郎) 如何なる線も簡易に伸線切斷し得べき裝置を得んとする目的を以て 内側面に數個の突起を附設して成る2個の伸線筒を機臺上に縦列し之を各々異なる方向に廻轉すべくし機臺上に設けたる回動杆の一端に偏心盤を設け該偏心盤を針金繰出用の溝ロールの軸受に壓接すべき杆の轉子に接觸せしめ機臺側に測定子を設け該測定子を線にて衝きたるとき切斷力を昇降打片下に移動し以て記前伸線を任意の寸法に切斷し得べくなしたることを特徴とする自働切斷裝置を有する伸線機

珪酸ニッケル鑛の浮游選鑛法 (12年 特許公告第3798号 公告12-10-6 東京市 正木康作) SiO_2 及 MgO 類を比較的多量に含有する貧珪酸ニッケル鑛より SiO_2 及 MgO 類を可及的に除去し品位高きニッケル鑛を容易且經濟的に得んとする目的を以て 硅酸ニッケル鑛を適當の細度に粉碎し 650°C~700°C の溫度にて 1時間~2時間焙燒して夫々マグネシウム鑛及ニッケルの酸化物と珪酸類とに分離せる後適當の浮游媒剤を加へて浮游選鑛を行ひ該鑛石中に含有する MgO 及 SiO_2 類を分離し Ni の品位を高め選別採取する事を特徴とする珪酸ニッケル鑛の浮游選鑛法

ニッケル基合金より成る電子放射體の芯 (12年 特許公告第3800号 公告12-10-6 亞米利加合衆國 インターナショナル スタンダード エレクトリック コーポレーション) ニッケルを使用せる酸化物被着型陰極の芯の有したる缺點を除去し活性被着物の剝離作用を生ずることなき芯を得んとする目的を以て Ni に Co 及 Fe の一方又は両方の適當量を加へて芯の強度及電氣抵抗を増加し更に之に約 0.1%~0.5% の C を加へて芯の電子放射能及動作壽命を増大せしめたる Ni 基合金より成る電子放射能の芯

マグネシウム又は之を主とする合金を陰極とする一次電池 (12年 特許公告第3815号 公告12-10-6 東京市 飯田廣) 斯くて陰極は保存中に何等反應を起すことなくして放電中のみ電氣化學的に陰極を溶解せしめ之によりて從來不可能なりし自己放電なき電氣容量大なる電池を得んとする目的を以て Mg 又は Mg を主とする合金を陰極とし勵電劑たる鹽類に依る陰極の腐蝕を中和すべき酸化性の鹽類を混和したるものを電解液とする一次電池

硬度試験に於ける負荷裝置の改良 (12年 特許公告第3851号 公告12-10-11 東京市 藤田勝) 構造の傾斜により生ずる荷重の誤差を除去し常に極めて正確なる試験結果を得んとする目的を以て 負荷せられたる構造の支點の位置を上下に調節せしむる裝置と該構造の度合を検知せしむる裝置とを組合せたることを特徴とする硬度試験に於ける負荷裝置

自働電弧熔接機に対する被覆電極の製作裝置 (12年 特許公告第3883号 公告12-10-11 東京市 鈴木啓正) 必要量の熔剤を確實に保持する被覆電極を容易迅速に製作し以て完全なる熔接を遂行せんとする目的を以て 棒より送り出さるゝ熔接線を洗水直用轉子に掛け直状となしつゝ 洗滌し次に之を銅線刷子にて研磨したる後カツターによりて周面に適宜數の縦溝を形成すると共に熔剤噴

充槽内を通過せしめて縦溝内に熔剤を充填せしめ次に熔剤拭取刷子に掛け縦溝以外の周面に附着せる熔剤を拭き取り更に之を乾燥装置に導き縦溝内の熔剤を乾燥せしめ而して其の乾燥を終れる熔接線をば巻取棒に巻き取るべく爲したる自動電弧熔接機に對する被覆電極の製作裝置

揮發油合成用觸媒の空氣中貯藏法 (12年 特許公告第3909號 公告12-10-13 大阪市 住文化學工業株式會社) 觸媒の空氣中に於ける貯藏を可能ならしむる事に依り揮發油合成法の工業化を容易ならしめんとする目的を以て 酸化物の還元に依り得たる Fe Co Ni 等の鐵屬金屬を主成分とする揮發油合成用觸媒を一旦活性化せる後空氣と触れしむる前に豫め炭酸ガス或は炭酸ガスを含む不活性ガスを以て處理し炭酸ガスを吸着せしむる事により觸媒の活性を一時的に不活性状態に變化せしめ然る後觸媒を空氣中に貯藏する事を特徴とする揮發油合成用觸媒の空氣貯藏法

硫化鑛土硫黃混合鑛石焙燒法 (12年 特許公告第3910號 公告12-10-13 關東州 堀田一雄) 鑛石中の硫黃分を完全に燃焼せしめんとする目的を以て 硫化鑛 土硫黃混合鑛石を多火床段式迴轉爐にて焙燒する際粗粒を最上火床段に粉を第2火床段又は第3火床段に裝入することを特徴とする硫化鑛土硫黃混合鑛石焙燒法

磁力偏析に依る含鐵アルミニウムの精製法 (12年 特許公告第3911號 公告12-10-13 關東州 大日方一司) 含鐵アルミニウムの精製を容易且有利に行はんとする目的を以て 含鐵アルミニウムを磁場内に於て其の熔融溫度以下凝固溫度以上の一定溫度に加熱し鐵アルミニウム化合物の初晶を磁力に依りアルミニウム熔融金屬内に偏析せしめて分離する事を特徴とする含鐵アルミニウムの精製法

彈性金屬填料環 (12年 特許公告第3931號 公告12-10-15 横濱市 東海鉛管株式會社) 強大なる彈壓力を有し完全なる充填作用を奏し得べき斯種填料環を簡易極めて廉價に得んとする目的を以て Pb Sn Sb Bi の如き軟金屬又は其の合金を以てせる細管を一重若くは一重以上に環狀に捲継して筒狀素體を形成し該素體を錫箔の如き金屬箔又は金屬薄板を以て被覆強せしめて成る彈性金屬填料環

内燃機關用燃料油處理法 (12年 特許公告第3941號 公告12-10-15 横濱市 渡邊圭祐) ノッキングを防止すると同時に機内に膠質融着物の附着せず金屬部を腐蝕せしめざる燃料油を得る目的を以て燃料油に重金屬例へば Pb Tl Sn Sb Ni Co 等の1種又は2種以上の輕金屬例へば Zn Al Mg 等の1種又は2種以上とを孰れもコロイドの状態に於て添加混合することを特徴とする内燃機關用燃料油處理法

金屬マグネシウム製造法 (12年 特許公告第4009號 公告12-10-20 東京市 旭電化工業株式會社) 金屬 Mg に特有の不純物が靜置によりて簡単有效に分離せられ得るの事實を利用し巧に精製を行ひ且之を純粹に分別して純度高き金屬 Mg を容易に得る目的を以て鹽化アルカリ及鹽化マグネシウムを含み又は更に Mg 以外のアルカリ土類金屬の鹽化物を含有する電解浴内に酸化マグネシウム又は炭酸マグネシウム或は兩者を炭素或は炭素含有物の如き還元剤と共に共存せしめて電解を行ひ以て得らるる不純金屬マグネシウムを一旦該金屬の熔融點より高き溫度に保持し其の粘度を低下せしめて靜置するか或は必要に應じ更に特に熔融ハロゲン鹽を共存せしめて靜置するかに依り 金屬マグネシウム含有の不純物を分離沈降せしめる工程と次に其の上澄融體を管狀物内に導入して其中に凝固せしめる工程

以て之を分取する工程との結合を特徴とする金屬マグネシウム製造法

誘導線輪用壓鐵粉 (12年 特許公告第4021號 公告12-10-20 戸畠市 實藤修作) 誘導線輪用壓鐵粉を廉價に得んとする目的を以て ガス還元多孔質鐵粉を磷酸アムモニウム溶液にて處理し鐵粉粒子の見掛の固有抵抗を大ならしむる如く絶縁せられたる絶緣鐵粉を以て製造せる誘導線輪用壓鐵粉

真空放電に依る鍍金法 (12年 特許公告第4076號 公告12-10-25 東京市 遷信大臣) 従來の方法に於ける如く特に整流裝置を用ひることなく從て操作を簡単にしづかに能率を著しく増加せしめんとする目的を以て 陰極飛沫現象を鍍金法に應用する場合放電管の兩電極の表面積の比を約 50 對 1 以上に保ち之に交流電壓を通し被鍍金物は面積の大なる電極に對向せしむることを特徴とする真空放電に依る鍍金法

保護被層を有する鋼板製造方法 (12年 特許公告第4079號 公告12-10-25 西宮市 津村秀三 外1名) 耐酸耐熱耐水作用大にして而も腐蝕することなき極めて重厚なる保護被層を有する鋼板を得んとする目的を以て 布又は紙にアスファルト コールタール及びビッチを主材とする泥狀液を浸透帶同せしめたる被覆帶を赤熱の鋼板の一面又は両面に重着せしめ (或は赤熱鋼板に直ちに前記泥狀液を付着せしめたる後該被覆帶を重着せしめ) て被覆鋼板となす工程と此工程直後未だ鋼板の溫熱を保持する狀態に於て該被覆鋼板面上に硫黃 亞麻仁油及タールをアスファルトに混和し之に更に鐵物質纖維を混和してなる粘着體を適宜の厚さに壓着せしむる工程との結合を特徴とする保護被層を有する鋼板製造方法

鑛石粉碎裝置 (12年 特許公告第4098號 公告12-10-27 朝鮮平安北道 林隆江) 碎機より粉碎機に自働的に鑛石を輸送し連續的に粉碎し得る簡単なる此種裝置を得んとする目的を以て 碎機及粉碎機の迴轉部を同一垂直軸に裝置し該軸は粉碎機の迴轉部に於て粉碎球に依り支持せられ粉碎せられたる微粉末は水流に依り外部に導出すべくなしたる事を特徴とする鑛石粉碎裝置

水性ガスより石油を合成する方法 (12年 特許公告第4107號 公告12-10-27 東京市 東京工業試驗所長) 発熱に伴ふ有害なる副反応を抑制し能率よく石油を合成せんとする目的を以て 鐵の酸化物を主體とし之に (1) Ca Mg Ba 等のアルカリ土金属の酸化物 水酸化物 有機酸鹽類の單獨或は混合物 (2) K Na 等のアルカリ金属の酸化物 水酸化物 有機酸鹽類の單獨或は混合物 (3) W Mo Cr 等の第六屬の酸化物 水酸化物 有機酸鹽の單獨或は混合物或は之等に代るに硼素アルミニウム等の第三屬の酸化物 水酸化物 有機酸鹽類の單獨或は混合物を夫々混和せるものを線狀又は錠として形成せしむる際其中心に鐵又はアルミニウムの線或は棒を同時に包含せしめたる觸媒を高壓下に於て使用することを特徴とする水性ガスより石油を合成する方法

高速度鋼被覆電極棒 (12年 特許公告第4129號 公告12-10-27 大阪市 陸軍大臣) 所望の配合成分を有する熔着金屬を容易に所望の配合成分並效力を有し且接着抗力を有せしめ得べき高速度鋼被覆電極棒を得る目的を以て 極軟鋼棒を芯線に被覆剤として Ferro W 10%~80% Ferro Cr 2%~40% Ferro V 1%~20% Ferro Mo 1%~30% Ferro Si 0.5%~10% Ferro Mn 0.1%~3% 及 C 0.5%~5% を此の外若干の熔剤を使用し適當の厚さに塗着し被覆となしたる高速度鋼被覆電極棒

被籠着體にステライトを籠着する方法 (12年 特許公告第

4138號 公告12-10-29 横濱市 海軍大臣) 従來施行せる瓦斯熔着法に比較しステライトの組織の悪化並に組織の變化を完全に防止し且氣泡の除去及成品の確實性を増大せしめ尙極めて短時日の練習にて容易に実施し得る方法を得んとする目的を以て 一定溫度に溶融するステライトを一定口徑の漏斗より之等と關連する一定速度にて回轉又は移動せしめある鑄型内に嵌入して鑄着個所を制限せる豫熱被着面上に連續的に落下し鑄着せしむることを特徴とする被着體にステライト鑄着する方法

鐵棒自動屈曲機 (12年 特許公告第4139號 公告12-10-29 東京市 島津久吉) 手動にて屈曲し難き程度の太き鐵棒をも容易且迅速に屈曲せしめ同一鐵棒の數回に亘る複雑なる屈曲及同一角度に屈曲すべき鐵棒の大量屈曲等に最も有效ならしめんとする目的を以て原動機より傳動せらるる堅軸を横棒の中央部に架設し該堅軸に曲棒桿を廻転せしむべき腕桿及び曲棒角度を定むべき多孔扇形鉗を固定し之等腕桿及び多孔扇形鉗を廻転せしめて鐵棒の屈曲が所要の角度に達するや上記堅軸の廻転方向を變換すべきクラツチを自動的に切換へて該腕桿及び多孔扇形鉗を運轉せしめ之等が始動位置に復歸する時其位置に於て自動的に停止し得べくなしたる鐵棒自動屈曲機

鑄込方法 (12年 特許公告第4174號 公告12-11-1 東京市 株式會社北辰電機製作所) 容易に鑄込操作をなし其の結果を極めて良好ならしめんとする目的を以て 上下に貫通せる孔隙を有する金屬の該孔隙に前記金屬體を構成する金屬よりも熔融點低き金屬を鑄込む方法に於て適當なる容器に熔融貯溜せる熔融點低き前記金屬内に前記金屬體を上方より浸漬すべくなし該金屬體と前記容器の内側壁との間隔を前記孔隙の横断面の徑又は幅よりも小なる如くなしたる事を特徴とする鑄込方法

硫黃溶解製煉法 (12年 特許公告第4218號 公告12-11-5 仙臺市 佐々木孝造外1名) 溶剤たる二硫化炭素を損耗せしむること殆どなく且つ品位低卑なる硫黃礦石をも利用することを得べからしめ經濟的に純度高き硫黃を製出せしむる目的を以て 含硫黃礦石を微細末に粉碎し水中に混吊せるものを耐壓罐内に於て二硫化炭素又は之に四鹽化炭素を加へたるものと混和し加熱しつゝ劇しく攪拌し下底より硫黃を溶解せる溶剤を抽出し之を低溫度に冷却し硫黃を結

晶として析出せしめ分離し母液は溶剤として反覆利用することを特徴とする硫黃製煉法

無酸硫黃精煉法 (12年 特許公告第4219號 公告12-11-5 東京市 久保利之吉) 熔融硫黃中に含有せらるゝ硫酸・亜硫酸・硫化水素等の有害酸類を溶液状にて存在するものは炭酸石灰と化合せしめて炭酸瓦斯とし又氣化せるものは其儘にて何れも熔融硫黃内に微細なる泡沫状に懸在せしむることに依り熔融硫黃の流動性を増すと共に化合物並に夾雜物を熔融硫黃中に分散せしめて保持し以て熔融硫黃の炭酸石灰の細粒に依る濾過を容易ならしめ且夾雜物生成せる固形物並に泡沫をなす氣状の各酸及生成せる炭酸瓦斯の除去を簡易良好に行ひ良質なる無酸硫黃を得んとする目的を以て 硫黃原礦を熔融し之を炭酸石灰の細粒にて濾過する事を特徴とする無酸硫黃精煉法

アルミニウムの箔紙の製造法 (12年 特許公告第4229號 公告12-11-5 東京市 飯田廣) 柔軟にして丈夫なるアルミニウム箔を作らむとする目的を以て アルミニウム箔に澱粉に苛性アルカリ又は硫酸を添加し加熱して作りたる遊離のアルカリ又は酸を含有する糊を以て紙を裏打せすることを特徴とするアルミニウム箔紙の製造法

特許抜萃

特許番號	名 称	特許権者	
121699	鐵心の磁性特性の改善方法	アルゲマイネツエレクトリチテツ ゲゼルシャフト	第23年4號
121709	アルミニウム又は其合金の防蝕被膜生成法	太田千代司	第23年6號
121723	砒化及砒硫化ニッケル鑄の製煉法	小室靜夫	
121747	耐酸性白色合金	正木保	第23年5號
121811	氣密電氣爐	遞信大臣	第23年7號
121917	高周波電流粉鑄還元爐	菊池秀之	第23年7號
121918	同	上同	上 第23年7號
121926	波形廻轉磁場誘導電氣爐	田窪彦一(外2名)	第23年7號
121964	鐵板鍍鉛法	松澤利治	第23年5號